

私は、熱中症予防のために、しっかりと予算をつけていただき、冷水機の設置を急いでいただきたいと思います。そのことを強く申し上げて、私のきょうの質問を終わりたいと思います。よろしく願いいたします。

佐々木謙二委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位2番、議席番号11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 おはようございます。

私は、通告しておりますが、都市再生整備事業の道の駅についてから質問に入らせていただきたいと思います。

この道の駅の計画に関しては、これまで私の意見として申し上げてきたのは、1つは、長井市は人口減少が進んでおります。そして、少子化、高齢化も進んでると。これは長井市だけではないわけですが、そういったこともありまして、まちの沈滞感、閉塞感とか衰退感も感じてきたということがあります。それから、市民の皆さんの声として、活気のあるまちをつくってほしい、あるいは暮らしやすいまちにしてほしいと、こういう声が聞かれます。

じゃあ、そのためにどうするかとなりますと、働く場所、仕事をつくる、いわゆる雇用の場の創出が大事なことでございまして、これは市民の皆さんも非常に期待している、望まれていることでありますし、また当局としても市民の声を聞いてるわけですから、それを受けて、いろんな対策を講じられていると。また、議会としても、何とかそういう雇用の場をつくるような努力をすべきじゃないかというようなことで、いろいろ議論をしてきてるわけでございます。そういう意味では、市民も当局も議会も共通のこれは願いではないかというふうなことであり

ます。

この道の駅というのは、ほかの市町村にある道の駅の事例を見ますと、運営次第では非常に雇用に結びついてると。したがって、産業の創出あるいは企業の誘致にも匹敵するぐらいの効果が期待できるのではないかと、そういう理由で私もこれまで賛成させていただきました。議会の中でも、私は場所の問題を別にすれば、議員のほとんどの皆さんが道の駅の構想自体には共感していただいているのではないかなと、そういうふう実感しています。

それで、ちなみに道の駅の状況というのを少し紹介させていただきたいと思いますが、東北の道の駅マップというのがあるんですよ。これは東北の道の駅協賛会というところで発行して、1部100円で売ってます。私の持っているのは平成21年のやつで、ちょっと古いんですけども、駅の数が青森で27駅だそうです。岩手が30駅、秋田が27駅、山形17駅、福島17駅、宮城が11駅、東北6県で129駅になってます。このほかに、かわの駅が瀬見のほうにありますので、最低でも130はあると。それ以上に今はなってるというふうに言えると思います。

そのほかにJAなんかでやっているアグリランドなんていうのも多々見受けられます。そのほかにも、ドリームのような即売所などを含まれますと相当な数になってると。これはとりもなおさず、それだけ地域に対する経済効果あるいは雇用の効果というのがあるがゆえに、やっぱりそういうふう設置をされてきてるのかなと私なりに思っております。

その道路マップの状況を見ますと、表は東北の地図なんですよ。東北の地図に県ごとに番号が振られて、そして明確に示されております。それから、裏側に今度、駅の写真が全部載ってます。129駅の写真が載って、そしてその周辺の観光地とまでは言えませんが、案内なども載ったり、それから駅ごとの営業内容とか施

設の紹介、そういったものもされておりますし、駅の特徴的なところをお知らせされているというふうな内容になってます。そのほかに住所と電話番号が入っておりますので、ナビで設定していくと行けるというふうになってます。

利用者の状況をちょっと申し上げますと、普通の日はやっぱり、元気な年金受給者とは言いませぬけれども、年配者の方、シニアの方が多いなというふうに思っております。ただ、日曜、祭日になりますと家族ぐるみ、あるいは若い夫婦連れの方々なども非常に道の駅を楽しんでる光景、にぎわいというのが感じられるように思っております。ただ、駅によっては、にぎわいにやっぱり差があります。それは品質とか品ぞろえとか、それから価格の問題とか地域の特産がそろっているかとか、そういったことによって相当な違いが出ております。やり方次第だなというふうに思っておりますが、私も大好きなものですから、しょっちゅう回って楽しませていただいている一人であります。

ただ、私が感じてるのは、残念だなと思ってるのは、道の駅に観光パンフレットというのを置いてるんですよ。ところが、それが県内の道の駅に対しても県外の市町村の方がその観光パンフレットをたくさん置いてるんですよ。ところが、なかなか長井市の観光パンフレットというのは見当たらないんですね。そういうものの状況というのはどうなってるのかわかりませぬけれども、そこが残念だなというふうに思っております。きょうは通告しておりませぬので、聞きませぬけれども、そういうところを実態を把握しながら、観光PRの場にも利用していくべきじゃないかなというふうなことを申し上げておきたいと思っております。そんなことを申し上げながら、道の駅について伺ってまいります。

この道の駅の予定地の選定に当たってなんです、市長は、都市再生整備事業で計画しておりますので、都市計画区域内でなければならな

いと。これはそのとおりだと思います。それから、一定の面積の確保が必要だと。それから交通の安全面、右折レーンなどの安全対策というのがどうしても必要だと。それから、交通量の多い場所、こういったことも考慮する必要があるし、中心市街地の活性化に結びつくようにというふうなことも言われております。そして、選定してる場所、今の場所については変更が難しいし、動かないと、こう言われてきました。

ところが、去る6月12日の一般質問、皆さんご案内のとおり、我妻議員のほうから質疑の中で、道の駅の予定地の利活用についてということで、大変注目すべき貴重な提案があったというふうに思いました。この提案が実現するような状況があれば、非常に東芝ライテックの問題などがあつたりして、長井市は雇用の面で暗い話題があつたわけでありませぬけれども、その点、これが実現するならば、雇用の創出とか地域経済の活性化という面では大変貢献するんじゃないかと。久方ぶりの明るい話題じゃなかったかなというふうに思ってお聞きをさせていただきました。

この提案を実現するには、やっぱり道の駅の予定地の変更、これもやむなしじゃないかなというふうな感じもしたものですから、検討すべきではないかなという観点で、これからお伺いいたします。我妻議員の提案内容の要点を整理して申し上げます。今、予定されている場所を企業誘致の場にすべきであるという提案だったと思っておりますが、そして、具体的には、結構大きな会社を運営されている社長さんの話として、道の駅の予定地だと思いますけれども、その場所を使いたいので銀行に相談したところ、待ってくれと言われていたということだそうだと。それはなぜかという、市で買い上げる準備をしているからということのようだったと。我妻議員の話としては、会社の社長さんからの又聞きと、こう言われてます。

そして、移転なのか創業なのかかわからないが、買いたい、使いたいという方がおられますよという話だったと思います。道の駅の予定地については、企業誘致の場として優良な企業に来てもらってはどうかと。そうすると、長井市にとっては、経済的にも税収面でも雇用の面でもよいのではないかとという提案であったというふうに思います。これは本当に注目すべき話だったなというふうに思ったものですから、ちょっと全体像を理解してもらうために申し上げました。

そして、市長も答弁の中で、企業誘致で利用いただければ、これにこしたことはない。予定地で企業誘致の場として適正か判断する必要があること、ただ、かわと道の駅が本年度可能かどうかの判断も必要なこと、できれば我妻議員に協力いただいて企業誘致していただければ、大変ありがたいと。かわと道の駅を認めていただけない場合、工場を創業されるという方がいるとすれば、我妻議員の言われるように、早く結論をつけなければならないというような趣旨の答弁をされておられます。我妻議員の情報、そして市長の答弁を踏まえながら、道の駅の予定地に関して具体的に伺いたいと思います。

さっき申し上げましたように、我妻議員との質疑の中で市長は、情報の提供の中の答弁なんですが、予定地が企業誘致の場として適切かどうかの判断も必要ではないかと、こう言われていますので、まず都市計画上の用途地域の用途区分についてはどのような指定になっているか、それから規制の内容については具体的にどうなっているか、まち・住まい整備課長に最初お伺いしたいと思います。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

ただいまご質問のかわと道の駅の予定地、観

光交流センターの予定地でございますが、用途地域は準工業地域になっておりまして、またあの一画については長井市が特別に定める特別業務地区に指定しているところでございます。建築物の建築制限としましては、環境の悪化をもたらすおそれのある工場、これは薬品などを使用する工場については規制されております。また、特別業務地区としまして劇場、映画館、料理店、キャバレー、ホテル、旅館、それに附属する建築物は、建築してはならないと規制になっております。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 それで、今、予定されてるのは道の駅の予定と、それから提案されているのは企業誘致というふうな話が出てくるわけですが、都市計画上の用途地域の指定の関係では、ほとんど問題はないというふうな確認の仕方でも多分いいんだろうと思いますけど、ただ、薬品となると、ちょっと問題があると、こういうことですね。そういうことでない限りは可能なんだということだと思いますが、それでよろしいですか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

詳細の制限の範囲については、かなり複雑になっておりますので、具体的な提案の中身で判断をすることになりますが、大方の表現としましては、環境の悪化をもたらすおそれのある工場、化学薬品などというようなことをご理解をいただければと思います。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 今、具体的に何々という、どういう会社だとか、そういうことが出てきてる状況ではありませんから、これはなかなか答えにくいなというふうに思いますが、ほとんど大丈夫なんじゃないかなというふうに想

定はされるようなことかなというふうに思います。

市長にお聞きしますが、市長が言うこの予定地が企業誘致の場として適切かどうかの判断も必要と言われてるのは、それは都市計画上の用途地域とは違った何か意味があつて言われたのかなというふうに思うんですが、それは何かありますか。

○**大道寺 信委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 我妻議員がこの間、一般質問でご提言いただいたのは、ちょっと趣旨がよくわからなかった部分もあったんですが、いわゆる企業誘致というお話で、使いたいというような具体的にあるということでございますので、その中身いかんでは、やっぱりすぐこれはお願いしたいと、その場合は場所というのは、あそこがいいというふうな判断でその方がおっしゃるんでしたら、これは私どものほうも、いろいろ検討、場所の変更も含めてしなきゃいけないということで申し上げたところでございます。

○**大道寺 信委員長** 11番、佐々木謙二委員。

○**11番 佐々木謙二委員** 私も、その場所については、市長が今申されるような感じをちょっと受けたんですが、というのは、東芝ライテックがあのとおり、あっちに移ったわけですから、あその場所もあいてるし、また成田工業団地の中でも空き工場があるしなというふうな思いもありましたので、私もそんな感じがしますが、あそこが適地だというふうな企業であれば、それはやっぱり考えていかなければならないというふうになるんだろうなというふうに思います。

それで、この予定地の見直しを検討するべきではというふうなことで市長に聞きたいわけなんですが、土地利用上の規制上では、問題になるような事業所の制限は恐らくないだろうというふうに思います。ただ、我妻議員の情報は、会社の社長さんを通じての又聞きと言われた提

案となっています。しかし、このたびの情報というのは非常に重要で貴重な提案だなと。しっかりとこの情報の把握に努めることがまず大事なことではないかと思います。そして、都市再生整備事業を進める過程にあるわけですから、時間的な制限もあるという中でありますので、早急に情報の把握が必要だというふうに思います。我妻議員の情報に対しまして、市長はどのように対処されて、情報の把握に努められてきているか、その辺をお伺いしたいと思います。

○**大道寺 信委員長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 私は、我妻議員のご発言といたしますか、ご提言は大変重く受けとめております。というのは、1回だけじゃなくて2回目でございます。前にも民間の自由な企業活動を市のほうでは制約してるんじゃないかということも前にも言われました。しかし、今回は具体的なことをご提言されたので、これも議場の場ですから確実な話であろうということで、早速、次日、金融機関等と調査をさせたところでございます。

また、我妻議員のほうにも職員のほうが忙しいとは思いますが、とにかく時間をいただいて話を聞くようにという指示をしておりますので、ぜひ我妻議員には、大変だとは思いますが、私も全面的にお手伝いさせていただきながら、これまたとないチャンスだと、ぜひ話を進めたいなというふうに思っているところでございます。本当に具体的に話があるということであれば、場所もやっぱりこれはそちらを優先すべきだろうというふうに、まず現時点では考えているところでございます。

○**大道寺 信委員長** 11番、佐々木謙二委員。

○**11番 佐々木謙二委員** 銀行のほうの照会をした、あるいは我妻議員に直接お尋ねもしている状況のようでございますが、あらゆるチャンネルを利用して、精査をして、情報によっては、場合によっては、市長も答弁されました

ように、場所の見直しというのは、これ重要な課題になってくるのではないかなと。これはまたないチャンスだというふうに思うんですね。長井市にとってはチャンスだというふうなことでございますので、単なる銀行だけでなく、いろいろ聞いてみる必要があるんじゃないかなと。例えば商工会議所あたりも通じたりして、そういう努力もしていただきたいと思います。そこはどうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 佐々木委員おっしゃるとおり、商工会議所のほうにも早速話をしなきゃいけませんし、もしあそここの場所がそういったことで、まず企業を立地くださるということであろうということから、かわりの場所も探さなきゃいけないということで、そちらもやはり地権者の方に相談もしなきゃいけないというふうに思っていますので、これを6月、7月ぐらいのうちにどんどん進めていかないと、まず9月にかわと道の駅、違う場所でご提案するとしたら、違う場所の地権者の方たちにも一応相談して、ある程度方向性を見出せない、できないものだろうというふうに思っています。

また、金融機関のほうも早速当たってますが、今、管理のほうは旧マークさんのところと、それからデータポイントさんと、それからあともう1社、これは地元の企業ですけども、持っているところと、それから国土交通省と4つあるわけですので、その辺のところも詳しくお聞きしながら、果たしてどこまで考えていらっしゃるのか。主にマークさんを管理している金融機関のほうからは、具体的な話は聞いていないということでございますので、ただ、買えるかという話はあるということは聞いてます。結局安く抑えたいから買えるのかというような話はいろいろあったそうです、今は全然ないそうですけども。そんなことも含めて、まず管理してる銀行であったり会社であったり、そういったとこ

ろに早速相談をしながら、そして我妻議員にはきちんと情報提供いただきながら、ぜひその社長さんには近日中に私、紹介いただいて、お邪魔したいと。

昨日も、製造業ではないんですが、企業をこちらに新しく設置したいということだったものですから、これ金融機関からの情報で、急遽予定を全部変更して日帰りで行ってまいりましたけれども、そういうふうに迅速に動いて、これは一日でも早く実現に向けて努力したいと思っていますので、ぜひ佐々木委員のほうからも、いろいろ方法をご指導いただきたいと思います。商工会議所のほうは、これからでございます。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 ほとんど市長のほうからの考え方なりをお聞きしたわけですが、これは非常に人口減少対策あるいはこれからのまちづくりという面では大事な、貴重な提案でありますので、ぜひ銀行関係者、4団体になりますか、そのほかにいろんな方々から早く情報の把握に努めてもらおうと。そうでないと、その次の段階、市長が言うように、じゃあ別の代替案というのは作業が進まないわけですよ。その代替案についても、きょう議論しようかなと思ったんですけども、そこまではまだ状況把握の段階で、そうならないなというふうに思いましたので、そこには進みませんが。いずれにしても、雇用の場というのは大切なんで、最優先にしていくことが大事なことでありますから、これからは優先して取り組んでいただくようお願いしたいなど。

私は、我妻議員の情報というのは、本当に今回、一石二鳥のいい提案で、問題解決が一気に進むのかなというふうなことで大変喜びました、正直言って。ところが、まだそういう情報の把握の状況だということでもありますから、今後、情報を見逃さないように努めていただいて、万全の対策を講じていただくようお願いを申し

上げておきたいと思います。ということで、代替案のほうの質疑には入らないので、こちらのほうはこれで終わりますけれども、道の駅に関しては。いずれ本当に大事な話ですから、ぜひ慎重に、そして個人情報なのか、その辺はわからないんですよね。それから、会社情報なので、その辺がまだ出てこないのか、その辺もあると思いますので、慎重にそこは精査をしていただきたいというふうに申し上げておきたいと思います。

続きまして、堀切桐町線の整備について、まずまち・住まい整備課長にお聞きします。

堀切桐町線の整備につきましては、景観形成、景観保全の取り組みの考え方というようなことで、いわゆる地域の歴史、文化、風土、自然環境等々の特性を生かした個性のあるまちづくりを実施して、住民の生活の質の向上、それから交流人口の拡大ということに努めて、そして地域経済の活性化を図ることをねらってるんだと、こういうことだと思うんですね。単に生活環境の整備だけじゃなくて、まちづくりの波及効果を期待する、あるいは地域経済の効果も期待する、まちづくりの付加価値と言ったらいいのかわかりませんが、適切かわかりませんが、そういうこともねらった事業だと。

市長の考え方、狙いも多分同じだと思いますが、地域の要望に応えながら、地域経済の波及効果を期待したいというふうに言ってるようです。それから、まちの継続、発展、まちづくりの効果を期待する。交流人口をふやす狙い、あるいはまちの将来の姿を総合的に判断して、にぎわいを期待したいというふうなことだろうというふうに思いますが、この石畳による道路の整備のあり方に関しては、いろんな意見が出されております。維持管理、ランニングコストが非常に高つくんじゃないかという心配しての意見ですよ。費用対効果のあり方、どうあるべきかというふうな意見も出されてる。単に費用

対効果で論じていいのかなというふうな聞き方を私なりにしておりますけれども、皆さん心配してますよ、当然ですよ。長井市は財政再建で苦労しましたから。そういうことで、意見が出てます。

それから、メインの道路の石畳整備でなくて、歩道部分や裏道や小道、水路などの整備をしてはどうかと、こういう貴重な意見も出されております。それから、あら町をモデルケースにして、もっといっぱいあるわけですよ、石畳の計画が。その状況を見てから、ほかの石畳の整備というのは考えて展開してはいかなものかというふうな意見が出されております。

市長も、それからまち・住まい整備課長も、市民と関係者の意見を聞いてみたい、そして設計したい、あるいはあら町の実践から市民の意見、判断をいただいて、石畳につきましては再度市民の要望を見て検討してみたいと等々の答弁をされてます。それで、課長にお聞きしますけれども、ただいまいろいろ申し上げましたが、この石畳による道路整備のあり方に関して出された意見、また市長も課長も言っている答弁の内容、それらを踏まえて、どのようにして、どういう経緯をたどりながら、市民の皆さん、あるいは関係者の皆さんの意見を聞いてきたのか、その辺、また今回の予算計上に当たりまして、整備内容について、どのようにそれを反映して配慮されたのか、その経緯と配慮の内容についてお伺いしたいと思います。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

経緯でございますが、桐町成田線の石畳舗装につきましては、昨年12月の定例会におきまして補正予算が可決になりまして、その後、測量設計に反映をさせていただくため、あら町通りの沿線の関係者、またあら町地区の皆さんと

の意見交換会をことしの1月と4月、2回させていただきました。皆様から石畳舗装につきましては賛同の意見のほか、工事などでご要望をいただいたところがございます。

1つは、あら町通りの位置づけでございますが、当初いちまたさんのお店の交差点までの延長270メートルでございましたが、あら町通りにつきましては、平野川までの290メートル間でございますので、その整備をしていただきたいということと、途中で終わることなく、全線を整備していただきたいというようなご要望、また両サイドの側溝が大変老朽化しておりまして、流れも悪くて、この工事にあわせて側溝整備についてご要望を受けたところがございます。

また、あら町地区の商店街の一部で街路灯などのまだ設置がなっていないところがあって、大変暗いところがあると、そういった改善についてもご要望をいただいたところがございます。その要望を受けまして、このたびお示ししております設計内容、概算事業費になったところによりまして、補正予算として計上をさせていただいたところがございます。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 今回の説明によりまして、1月と4月にあら町の皆さんとの意見交換をしたと。全線をやってほしいという要望、それから側溝をつけてほしい、街路灯を設置してほしいと。そして、その要望に沿って今回配慮して予算計上させていただいたと、こういうことで理解しますけれども、市長にもお聞きしますが、この配慮の過程で、市長としてもどういう判断をされてきたのか、その考え方について伺います。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

私も、1月と4月の地区の皆様との話し合いには出てないんですが、あら町地区との意見交換会を多分2月ぐらいの時期だったと思います

が、させていただきました。その際に、ぜひあら町については途中で終わることなく、最後まできちっとやっていただきたいということと、街灯、暗いところがあるので、それも一緒にやっていただけないかという話、また側溝の話も、そのときいただきました。これらについては、予算の範囲があるので、その点はちょっと担当課のほうと相談しないと何とも答えられない部分があるけれども、できるだけ地元の要望に応じて、あら町に住んでいらっしゃる方が少しでも快適に、またあら町に外からいらっしゃる市民の皆様とか観光交流客の皆様も、あら町ってすごくいいまちだねと感じてもらえるような、そういった石畳にするように努力いたしますというようなことをお答えしたところがございます。したがって、課長が申し込んだ内容をできるだけ希望に沿うように設計を組むようにという指示をしたところがございます。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 あら町の皆さんの意向の把握については、課長も市長も同じような把握の仕方だなというふうに受けとめました。これは大事なことでございまして、やっぱり市民の民意ですね、それにこたえるというのは行政の役割でもあるわけですから、その民意にこたえて、今回内容を変更して計上するという課長の答弁もありましたので、それはわかりました。そういう経過を踏まえたんだなというふうなことで承知しましたけれども、要望の内容とか、そういうふうなきちとした整理したものというのは何か出たものですか、なかったんでしょうかね。課長にちょっとお聞きしたいんですが。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

あら町地区の地区長さんのほうに意見交換会

で出ました要望等の内容をまとめていただいた要望書の提出を市長あてに受けております。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 要望書を受けてるといことですか。じゃあ、簡単に1回ちょっと報告していただけますか。概要でいいですから。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 あら町地区の環境整備の要望で、4月の22日付であら町地区長の安城和雄さんからいただいております。前段の文章のほうは省略させていただきます、1つ、あら町通りの全線、延長約290メートルにおける石畳整備及び側溝整備のお願い。また2番目として、これは今回の予算に入っておりませんが、市道神明線、これはやませ蔵美術館の前の通りでございます。においても石畳整備をしていただきたいと。あと3つ目としまして、県道でございますが、長井大江線、これは荘内銀行の前の通りを指してます。この区間に街路灯の整備をお願いしたいというような、以上3点をいただいているところでございます。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 県道長井大江線ですか、街灯の設置というのは。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 場所は県道長井大江線の路線になっております。以上です。荘内銀行の前については長井大江線になっております。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 長井大江線の県道の街灯整備になるんですか。市長、知ってますか、それで。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 地元の意見交換会でも、びっくりすることに2軒ぐらしか欠席の方がいらっしやなくて、ほとんど全員いらっしやったんですが、あその今、石畳のところは市道です。ただ、その関連でできないかと、あそのところだけ、今のあら町通りの市道は明るいわけです。ところが、あっちの杵屋さんと荘内銀行、あそのところだけが切れてて暗いと。ですから、あら町としては、それも今回の事業でもらえないかというようなご要望だったんです。ですから、その街灯の部分については実は県道の部分なんです、県のほうと協議をして、県のほうとしては、市で設置する分には補助事業でやっていただいても大丈夫だというような了解をいただいて、今回、予算を計上したというふうに把握しております。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 この後に通告されている方もおられるようでございますので、余り踏み込みませんけれども、ちょっと違和感を感じるのは、やっぱりその事業でやってもらって大丈夫だということ、県道ですから、それを関連事業でやるというのは何だかちょっとおかしいなというような気がしますので、そこをしっかりと後で答弁していただきたいなというふうに思います。できれば県のものは県でやってもらうというのが普通当たり前の話ですから、そういうふうに申し上げておきますけれども、そのように後できちっとわかるように答弁していただきたい。

それから、やませ蔵の関係、前の道路の関係で出ましたけども、こういったものはまだ関連事業としては何も載ってないんだらうなというふうなことで、多分まだ予算化できないと、ということなんだらうと。裏道、小道の関係も、議会のほうから提案があったわけですが、これに……。

○大道寺 信委員長 ここで、昼食のため、暫時

休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○大道寺 信委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、佐々木謙二委員の質疑を続行いたします。

11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 午前中に市長なり、それからまち・住まい整備課長にいろいろ伺ったわけでございますけれども、そして地元のあら町の皆さんの意向を受けて、その受けた内容も伺ったわけでございます。特にあら町の皆さんの民意としては、やっぱり全線を何とかしてほしいという願いだったんだなというふうに思います。また、加えて側溝の整備なり街路灯の整備などもやっていただければなど。やっぱり地元にとっては、またとないこれは絶好のチャンスなわけですから、この機会を逃さないというふうなこともあって、いろいろとご要望というのは出てくると思うんですよ。それに丁寧に真摯にこたえていくというのも、行政の役割ではないかなというふうに思いますし、ぜひそういうふうをお願いしていきたいものだなというふうに思います。

まず、やませ蔵についての要望が出されてるということで、これについては聞いたかどうかちょっと忘れちゃったので確認しますが、これ関連事業でやっていくのかなというふうに思いますが、それをやるにしても、計画の変更をしないと地域の要望に応えられないと、こうなると思うんですよ。また、裏道、小道の関係も、これは地元から出てるのかどうか。これは議会のほうで、そちらのほうを優先すべきではない

かというような意見もあったわけですが、それに対する整備の考え方について課長からお聞きしたい。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

都市再生整備計画につきましては、今年度見直しをする予定をしております。その中で、石畳を予定してる路線4路線あるわけですが、そのうちの2路線については、計画変更になっても認定を受けられるのではないかと考えておりますので、新たな小道や、またやませ蔵美術館前の神明線につきましても、検討の中身として提案を申し上げたいと思います。

なお、検討委員会が来月上旬から協議が行われるわけですので、その中でご意見を伺いながら、新たな路線については検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 そうしますと、石畳で予定してる4路線がありますね。そのうちの2路線は今のところ計画どおり進めて、2路線については見直ししながら、これまでの意見を踏まえながら見直しの中で検討していくと、こういうことになりますか。もう一回ちょっと。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 現在の石畳を予定してる4路線については、2路線については、このたび変更の対象にしたいというふうに今考えております。ただ、検討委員会の中で、その路線については必要だというふうな意見がもしあるとすれば、当然それはそのまま計画の対象になると思いますが、新たな路線についても、必要な路線の意見が多い路線であれば、石畳の路線として計画変更の対象にしていきたいというふうに考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 そうしますと、これからいろいろと検討委員会でご意見を伺いながら、そのやませ蔵の要望なり、あるいは裏道、小道の整備なり、それから変更を考えてる2路線についてのこれからのあり方とか、それを総合的にやっていくというふうに認識させていただいてよろしいんですか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 佐々木委員からご説明があったとおりでございます。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 それでは、市民の皆さんの思いにこの機会を活用して、ぜひこたえられるような、市民の皆さんのお知恵とお力をおかりして、そして取り組んでいただくようお願いしたいなというふうに思います。

そのほかに、維持管理とかランニングコストの問題が提案されてますね。少し単価が高過ぎるんじゃないとか、いろんな意見が出されておりますけれども、そのことに対する配慮というのはどのように考えておられますか。

○大道寺 信委員長 浅野敏明まち・住まい整備課長。

○浅野敏明まち・住まい整備課長 お答え申し上げます。

このたびの堀切桐町線石畳の舗装の関係につきましては、1月の臨時議会でも提案をさせていただきまして、議員の皆様からいろいろご教示をいただいたところであります。その中で、アスファルト舗装との単価が高過ぎるんじゃないかというようなことで、また維持補修についても多額の経費がかかるんじゃないかというようなご提言がございました。そういったご意見を踏まえまして、このたびご提案をさせていただいた内容でございますが、道路の中心部、走

行車線4メートル部分につきましては、脱色のアスファルト舗装にいたしまして、石畳舗装につきましては、両側2メートルずつの4メートルのみとして計画したところでございます。

また、極力維持補修がないよう、石が割れることによって多額の維持補修がかかるというふうな先進地のお話もいただきまして、石張りの下の空隙を生じさせないように、基礎コンクリート15センチとモルタル3センチの基礎構造を計画したところでございます。また、モルタル目地では、温度上昇によりまして伸びが生じることによりまして隆起して空隙が生じる原因にもなるというようなことが指摘されておりまして、このたびは伸縮目地を採用いたしたいというふうに考えております。

また、大型車の通行が予想される交差点、特に後輪の部分で荷重が過大になることで割れる原因にもなる前例があるというふうにお聞きしまして、その部分については石の厚さを5センチから6センチ、また基礎コンクリートについても15センチから20センチとして採用していきたいというふうに考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 今、答弁をお聞きする限りは、構造上の全体的な見直しを調査研究されて今回は対応させていただいたと、このようなことのごようでございます。議会の意見を真摯に受けとめていただいて、そしてこういう内容に変更しながら配慮していただいたということについては、それなりに私は評価すべきかなというふうな受けとめ方をさせていただきたいなというふうに思います。

石畳の活用というのは、これからまちづくりで生かしていくのも一つの道かなというふうに思いますけれども、それを生かしたくて市長は考えてきたんだと思いますが、ただ、やっぱり表通りよりも裏にすばらしい隠された財産が長井の場合たくさんあるような気がいたします。

そういうものを洗い出しながら、この変更計画の中で、あら町だけが裏道、小道があるのか、ちょっとわかりませんが、私、そういう文化・歴史的なことに正直疎いものですから、わかりませんが。そういうところをやっていくことも大事だし、また水を利用していいんじゃないかなというふうな感じを持ってるんですよ。水路の整備なんていうようなことについても議会でもあったような気がするんですが、市長のそういう基本的なまちづくりの方向、考え方について、ちょっとお伺いしたいと思います。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

このたびの都市再生整備事業では、長井市で小桜館のところを一部だけ今までやってきたわけですが、それ以外、やはりある程度大通りでも車が余りスピードを出せないように、そして歩道をつくれなところがあるわけですから、そういったところは石畳をすることによって、今回のように色で変えて、脱色舗装なんかするということなども、結果としては市民あるいは議会の皆様からいろいろいただいた意見をこういった形で提案させていただいたんですけども、これをやはり1回モデルとしてごらんいただきながら、もう1路線で大通りで考えていたのは十日町、それからあら町ですと、やませ蔵のところであったり、あるいはほかにももちろんあると思いますが、本町の通りも裏道があります。あるいは十日町や高野町、大町、横町等たくさんありますので、そういったところをやっぱり地元の考え方あるいは観光協会や議会の皆様からもいろいろ意見をいただいて、ぜひ石畳も、もしいい形でもっともっとすべきだという声強い場合は、いろんな形で広げていきたいと思っています。

また、水路についても、まず一つは十日町の石畳については、あそこは水路が結構上に見える形でありますので、あれをぜひ生かしたいと

思いますし、今後、駅前通りの街路事業を採択いただいたときは、ぜひ駅前通りの歩道沿いに水路をつくれなというふうな考えてます。あともう一つは、出しやすいところとしては、グンゼ通りですが、グンゼ通りも、企業さんのほうからご協力いただければ、あそこも非常にきれいな水が流れておりますので、そういったところなども今後どうしたらいいか、今回の都市再生整備事業の中ではちょっと難しいと思いますが、その後の都市再生整備事業や中心市街地活性化基本計画を認定いただきますと、さまざまな国交省とか経産省、総務省、事業がたくさんあるんだそうです。それらをいろいろ研究しながら、どういった形がいいか、ぜひ議会の皆様も含めて、市民の声をお聞きして考えていきたいというふうに思います。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 以前に長井の水を売りにしたまちづくりをしてはどうかというふうなことで、中途半端で終わってしまったんですが、調整水路を活用しての水のまちづくりをやってみようかというふうな進め方をしてきた過去の経過があります。長井市は水のまちを標榜してるわけですから、非常にほかへ発信するのに、長井の石畳というより長井の水のほうが発信力はあるのかなというふうな感じもしますので、そういった知恵などもこれから出していく必要があるのではないかなというふうな感じがしてますので、ぜひ見直しを前提に今考えてるわけですから、そういった見直しの際に水を有効利用できるような施策を講じていただければなというふうな思いがあります。ぜひ検討してみてはなというふうに思います。

先ほど課長の答弁の中では、4カ所のうち2カ所は変更してもというふうな話が出されたわけでありましてけれども、堀切糶町線、これをモデルとして実践をして、そしてそれを見ながら、ほかの石畳の整備について考えたらいいんじゃない

ないかというふうなご意見があったわけです。それを今は2カ所はやるという前提のようなんですけれども、いろいろと皆さん疑問を持ちながら意見の展開をしてきたわけですから、とりあえずこの堀切桐町線のモデルの状況を見定めてから、その後、もう少し時間かけて市民の意見を聞いて、そして実施してもいいのではないかなというふうな気もするんですが、そこらあたりに対する考え方は市長、いかがですか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 浅野敏明まち・住まい整備課長が申し上げた、もう1路線というのは、十日町の丸大扇屋の前の市道だと思えますが、それとあと2カ所というのがタスと民間のチェーン店の牛井屋さんがあります。あそこのところのちょっと距離は短いんですが、あそこと、それから今回、かわと道の駅の候補地になってる日産自動車、要は駅前通りが287号線がぶつかります。そこから日産とコンビニの間のほんの数メートル、その4カ所なんですけども、佐々木委員がおっしゃいますように、まず堀切桐町線ですか、そこをしっかりとやって、あと3路線はとりあえず白紙にして、まず今年度の検討委員会で、12月に変更申請しますので、その段階で変更するべきものはする。あとは、同じ例えば石畳の路線をもうちょっと別の路線に切り替えるということであれば、来年でも多分できるのだと思います。ただし、大きい変更は今年度中に行わなければならないということだと思いますので、そこはぜひ議会や市民の皆様、関係者の皆様からご意見をいただいて、変更すべきものは変更してまいりたいと、そのように考えております。

○大道寺 信委員長 11番、佐々木謙二委員。

○11番 佐々木謙二委員 何カ所もばらまくなでなくて、虫食い状態で整備したって、なかなか効果というのは出てこないと思いますので、それよりも、やるところはきちっとやっていく

というのが本来ではないかなというふうな感じがします。そんなこともありますし、いずれこれから検討委員会なり市民の皆さんの意見あるいは議会の意見もきっちり出してもらって、報告だけでなく、お互いに意見交換するようなやりとりをして、そして出してもらって、そういうものを反映できるような姿の計画にしていってもらいたいなというふうなことを申し上げまして、あとできるだけ民意を大事にしてもらうということが一番だと思いますので、そういうことを基本にしながら進めていただきたいなというふうにお願い申し上げまして、私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

江口忠博委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位3番、議席番号3番、江口忠博委員。

○3番 江口忠博委員 お疲れさまでございます。さっきお昼の時間に屋上で新長井踊りを練習してきましたが、なかなか覚えられなかったですね。少しうろたえて踊っておりましたが、これからの質問、うろたえることなく何とかできればと思いますので、よろしく願いいたします。

通告に従ってお聞きをいたしますが、このたびの補正予算の中で農林水産業の中ですけども、農業振興費として市の一般財源から30万円の支出も含めた合計2,615万5,000円の補助金が計上されておりました。この中は、農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業補助金、この中には2つありまして、主体事業2つに対して135万5,000円、戦略的園芸産地拡大支援事業補助金、これは1つの事業主体であります、466万6,000円、経営体育成支援事業補助金では、これは3つの地区、合計8名の生産者の方々であ